

No. 7-1 近畿地方整備局 事業評価監視委員会 平成22年度第6回

国道421号

いしぐれとうげ

石 博 峠 道 路

【再評価】

平成23年3月近畿地方整備局

1. 防災面の課題の整理

- ■滋賀県・三重県境は急峻な山地を通過し、冬期の閉鎖区間や異常気象時通行規制区間が存在
- ・国道421号の滋賀県・三重県境では、年間約154日間通行規制が発生
- ・H20年9月に発生した豪雨による土砂崩落災害では全面通行止めとなり、三重県域においては現在も通行止めが続いている状況

〈冬期閉鎖、異常気象時通行規制区間〉



〈急峻な地形を通過する国道421号〉



防災面の課題の整理

■H20年9月に発生した土砂崩落災害状況および冬期通行止め状況



コプターが撮影した東近江市の被害状況=県提供砂瀬れが相次いだ。写真は2日後、滋賀県防災へ9月2日の豪雨で国道421号は三亜県境付近で 格的工事も来春からになるが、冬定を受けてからになるが、冬

害の規模からみても県境まで

号が453元、306号が2

15*a) と477号(甲賀市―三重・菰野町間25*a) 交互通行で開通したが、421号(東近江市―いな 行止めになって1カ月になる。このうち3 9月2日の集中豪雨で、激賀と三重を結ぶ鈴鹿山脈越え なべ市間、12%)は10月2日午前10時に一部片側 477号)が、土砂崩れで の被害 通行止め区間(一)

カ所、三重素側10カ所で崩落 カ所、三重素側10カ所で崩落 があった。 421号の県境・石標峠へ

工事は、今月末に国の災害を続く難所。ふだんから2~車続く難所。ふだんから2~車 ない」といい、こちらも通行年で開通、などということは 通しは、まだたたないが、半ている。三重県は「復旧の見 高さの好にわたって崩れ、検が大きく、山肌が幅の

の道路は狭

は規模が大きく、山肌が幅40 477号は、三重原側で4



朝日新聞 平成20年10月3日 朝刊33面

9月2日の集中豪雨で、滋賀と三重を結ぶ鈴鹿峠越 えの国道3本(306号、421号、477号)が、土砂崩れ で通行止めになって1カ月になる。このうち306号 (多賀町-三重県いなべ市間、12キロ)は10月2日午 前10時に一部片側交互通行で開通したが、421号 (東近江市ーいなべ市間、15キロ)と477号(甲賀市 -三重・菰野町間25キロ)の被害は大きく、通行止め は長期化しそうだ。

写真①土砂崩落災害状況(滋賀県側



撮影: H20.9.2(滋賀県提供)

撮影: H18.1.5

豪雨で土砂崩れの国道2本

通行止め長期化

岐阜県

来春から

2. 課題を踏まえた対策の検討

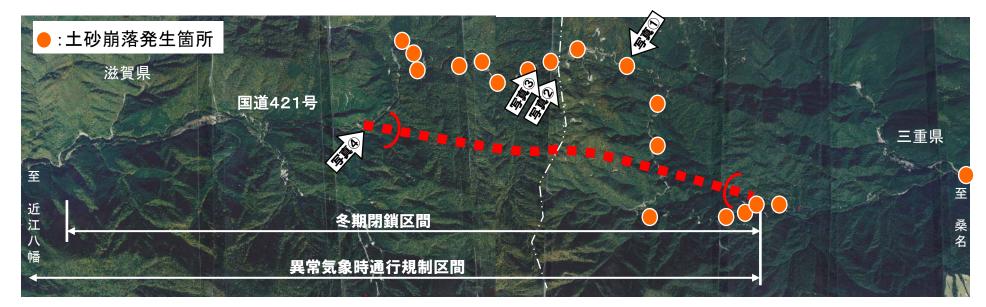
- ■国道421号の冬期閉鎖区間、土砂崩落危険箇所を解消する対策の検討
- ・現道部分は現道拡幅が困難であり、線形不良区間、冬期閉鎖区間の大部分をトンネルで通過する計画











2. 課題を踏まえた対策の検討

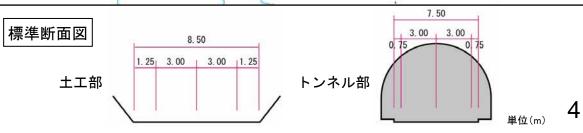
計画の概要

区間	だいあんちょういしぐれみなみ (起)三重県いなべ市大安町石榑南 ひがしおうみ きわだちょう (終)滋賀県東近江市黄和田町			
道路延長	4.5km			
構造規格	第3種第3級			
設計速度	50km∕h			
車 線 数	2車線			
標準幅員	8.5m (土工部) 7.5m (トンネル部)			
計画交通量	1,300台/日			
全体事業費	150億円			
事 業 化	平成15年度			
用地着手	平成17年度			
工事着手	平成17年度			
供用延長	_			
事業進捗率	約69%(平成22年3月末現在)			
用地取得率	約100%(同上)			

事業の整備効果

- ■冬期閉鎖区間の解消
- ■災害による通行止めの回避等





3. 事業効果の把握

- ■通行止めによる迂回の回避(事業区間)
- ・土砂崩落等により、現道では過去10年間に1回通行止め(延べ652日間)が発生
- ・現道で通行止めが発生した場合、大幅な迂回
- ・石榑峠道路の整備により、通行止めによる迂回を回避

現道区間(国道421号)が通行止め時の迂回

過去10年間の通行止め実績(国道421号)



内容 通行止日数(日) H20.9.2 土砂崩れ 652 H23.3.10 652 65.2

> 過去10年間の通行止め実績 から算出した年あたり迂回解消 効果 3.2億円/年

現道区間の通行止日数×迂回解消に よる効果(走行時間短縮、走行経費減少、 交通事故減少)

> 供用後50年間に換算 65億円

3. 事業効果の把握

■冬期閉鎖区間の解消

- ・国道421号では冬期閉鎖期間が、毎年約4ヶ月(12月上旬から3月下旬)となっており、さらに異常気象時 通行規制区間が存在
- ・石榑峠道路の整備により、三重県北勢地域と滋賀県南東部地域の所要時間が短縮するとともに、冬期も安定して通行できるルートとして、物流、観光面に加え災害時の代替路として期待







京都新聞 平成20年9月8日 朝刊22面





東近江市役所~いなべ市役所

〔整備前〕国道21号ルート 135分

75分

[整備後] 石榑峠ルート 60分

- ①三重県北西部が通勤圏になり、働き先の選択肢が増える。地域の高齢化に歯止めがかかれば。 (永源寺商工会事務局長)
- ②中部経済圏との結び付きが強まり、東近江市の立地の重要性は高まる。(東近江市企画課長)
- ③中部圏にはない魅力で集客増につなげられる。 (東近江市観光課)
- ④観光地を京阪神に向けて発信する。 (いなべ市広報秘書課)

3. 事業効果の把握

■事業の投資効果

・効果については多岐多様に渡るが、災害時の迂回解消を含む走行時間短縮等について貨幣換算を 行い算出

また、地域住民の不安感の解消について、CVM(仮想的市場評価法)により算出

費用については、道路整備に係る建設費、及び維持管理費で算出

■費用

□事業全体	157億円
•事業費	153億円
•維持管理費	4.6億円
□残事業	_

• 事業費

•維持管理費

■算出条件等

: 平成22年度 基準年 検討期間 : 50年間

現在価値算出のための

社会的割引率: 4%

交通量の推計時点 : 平成42年度 推計に用いた資料 : 平成17年度

道路交通センサス

事業費 : 150億円 維持管理費 :5百万円/km :近畿地方整備局 作成主体

■効果

災害時の迂回解消を含む走行時間短縮等

•走行時間短縮	157億円	
•走行経費減少	24億円	247億円
•交通事故減少	1.8億円	24/1息门
・通行止めによる迂回解消(事業区間)	65億円	

災害による被害の回避

災害時の代替機能の確保

地域住民の不安感の解消

201億円 201億円 •CVM調查

道路の信頼性に関するアンケート調査(H23.2)結果より、支払意志額:297円/世帯、対象地域:263,437世帯で算出

※効果のうち、貨幣換算していないものは"ー"とした

4. 関係自治体の意見

■滋賀県知事

平成23年3月7日 滋道第143号

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(回答)

照会のありました「国道421号石榑峠道路」事業については、平成22年度末で供用開始の予定であり、地元も望んでいる早期の事業効果発現を期待しております。

残工事を含む全ての事業が完了するまで、安全に十分配慮の上で事業推進していただきますようお願いいたします。

■三重県知事

平成23年3月8日 県土第26-162号

近畿地方整備局事業評価監視委員会に掛かる対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(回答)

本事業は、冬期閉鎖の解消や災害発生時の通行止めを軽減などの防災対策や中部圏と近畿圏の物流・観光面での交流・連携の促進を図る等重要な事業です。

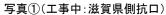
今後も引き続き、本県と十分な調整をしていただき、今年度末の供用開始に向け取りくんでいただくとともに、残された現道部分との取り付け工事等の早期完了に向け事業の推進をお願いします。

地域計画等への位置付け

- ■滋賀県基本構想(滋賀県:H19.12)
- ■道路整備アクションプログラム2008(滋賀県:H20.6)
- ■新道路整備戦略(三重県:H15.10)
- □国道421号整備促進期成同盟会(昭和57年7月設立) (東近江市、いなべ市、近江八幡市、桑名市、東員町、愛荘町、安土町)

5. 事業進捗の見込み

- ■石榑峠道路は、平成15年度に事業化し、平成17年度から工事に着手
- ■トンネル本体工事は完成しており、平成22年度末の開通に向けて工事を推進中





撮影: H23.2.8

写真②(工事中:八風谷橋付近)



_				
区間	4.5km			
用地	取得済			
工事	開通に向け推進中			

写真③(工事中:三重県側抗口)



撮影: H23.2.8

写真4(工事中: トンネル内部)



撮影: H23.2.8

6. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

石榑峠道路の計画は、滋賀県・三重県境における土砂災害による通行止めの回避、冬期閉鎖区間の解消、線形不良区間の解消、交通隘路区間の解消等を勘案し選定された合理的な計画であり、周辺の環境に配慮しながら、引き続き現計画に基づき事業を推進



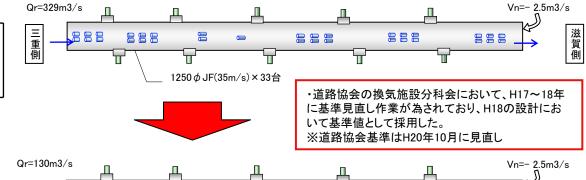
石榑峠道路では、設計段階からトンネル換気設備の見直し等、新技術・新工法の積極的な活用など、より一層コスト縮減に努めながら事業を推進

三重側

8 -

当初計画

煤煙発生量	従来基準[m2/km•台]	換気量=329m3/s
大型車	5. 1	JF(ジェットファン)
小型車	0. 5	<u>必要台数33台</u>



1250 φ JF(35m/s) × 10台

変更計画

煤煙発生量	新基準[m2/km•台]	換気量=130m3/s
大型車	2. 3	JF(ジェットファン)
小型車	0. 8	<u>必要台数10台</u>

滋賀側

1. 事業の必要性等に関する視点

- ・滋賀県三重県境は急峻な山地を通過しており、冬期の閉鎖区間や異常気象時通行規制区間が存在
- ・国道421号では、土砂崩落危険箇所が存在しており、平成20年9月に発生した土砂崩落により、現在も通行止めが続いている状況
- ・石榑峠道路の整備により、土砂崩落等による通行止めの回避、冬期閉鎖区間の解消、 災害時の迂回解消を含む走行時間短縮等、災害による被害の回避、地域住民の不安感 の解消等の効果が期待される

2. 事業進捗の見込みの視点

・トンネル本体工事は完成しており、平成22年度末に供用を予定

石榑峠道路は、事業の必要性等に関する視点、事業の進捗の 見込みの視点から継続が妥当と判断できる

引き続き事業を推進し、早期の供用を目指すことが適切である

事業継続



No. 7-2 近畿地方整備局 事業評価監視委員会 平成22年度第6回

国道421号 いしぐれとうげ 石榑峠道路

【再評価】

平成23年3月近畿地方整備局

(再評価)

費用と便益の内容

様式-2

※便益は、災害時の迂回解消を含めた走行時間の短縮 等

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・B P ・ その他の別
国道421号	石榑峠道路	L = 4. 5km	一次改築	ВР

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体	
1, 300	2車線	近畿地方整備局	

① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基準年	•	平成22年度	
単純合計	143億円	11億円	154億円
うち残事業分	-	-	=2
基準年における 現在価値 (C)			157億円
うち残事業分	-	<u>==</u>	-

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年		平成22	年度	
供用年	平成23年度			
単年便益 (初年便益)	8. 7億円	1. 2億円	0.08億円	10.0億円
基準年における 現在価値 (B)	215億円	30億円	1. 7億円	247億円
うち残事業分	-	-	-	110

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

交通状況の変化

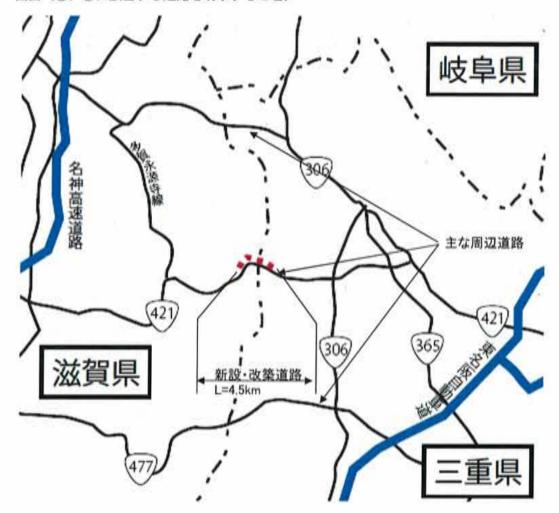
事業名:石榑峠道路(事業全体)

(推計時点 H42年)

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路 (4.5km)		交通量**1	[台/日]	0	1. 300
		走行時間 ^{※2}	[分]	.0	10
		走行時間費用※3	[億円/年]	0. 00	3. 07
— A2 D	一般問道 4	交通量	[台/日]	1, 300	0
	21号	走行時間	[分]	41	0
	(10. 2km)	走行時間費用	[億円/年]	10. 38	0. 00
	— AQCOLIN 3	交通量	[台/日]	5, 000	5, 000
	06号	走行時間	[分]	93	93
	(29. 5km)	走行時間費用	[億円/年]	91. 61	89. 40
	一般国道 4	交通量	[台/日]	3, 900	3, 900
②主な周 辺道路 ^{※4}	7 7 号	走行時間	[分]	79	79
	(40. 6km)	走行時間費用	[億円/年]	66. 71	64. 98
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0. 00	0. 00
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0. 00	0. 00
③その他 (5,000		走行時間費用	[億円/年]	24, 985, 72	24. 986. 21

			走行時間費用	走行時間費用	走行時間短縮便益
			整備なし(A)	整備あり(B)	(A - B)
合計:5,085.5km	走行時間短縮便益	[億円/年]	25. 154. 43	25, 143, 65	10. 77

(2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



算出の条件

事業名: 石榑峠道路

(2)

-		2011 V.W 1111	項目	チェック欄
	All Andrews Control of the Control o	費用便益分	析マニュアル	
	算出マニュアル	(平成20年	11月 国土交通省 道路局 都市·地域整備局)	
		その他		
	V 5812 B	分析対象期	間	50年間
3	分析の基本的事項	社会的割引	率	4%
		基準年次	New Mark	平成22年
	交通流の	1時点のみ打		■ (H42)
	推計時点	複数時点で	の推計	
		THE RESIDENCE AND PERSONS ASSESSED.	それぞれで交通流を推計	
	推計の状況	整備の有無	のいずれかのみ推計	口有 口:
	1000	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみの推計とした理由を記載	
			ンサスをベースとした自動車OD表	andress Press
	推計に用いた	(三段階推定	The later was the same of the	(H17センサスペー
	OD表		ップ調査をベースとした自動車OD表	
	2720427524444	(四段階推定	[法)	
		その他()	
交				
通	開発交通量の	有		
流推計	考慮	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	()台トリップ/
n i e		QーV式を用	いた配分	
		転換率式を月		
		and the last of the last of the last of the last	換率式の併用による配分	
		均衡配分(リ	ンクパフォーマンス関数を用いた配分)	
		簡易手法		
	配分交通量の	****	小規模事業である	
	推計手法	簡易手法の 採択理由	山間部海岸部で併行道路が少ない	
- 1		NAMES CONTROL	その他()	
		簡易手法の考え	元方(将来交通量の設定方法等)	
		その他(BP	R関数と転換率式の併用による配分)	
			終了時の速度を交通量でウェイト付け	
		して設定 採用理由を記載	¥	<u> </u>
	速度設定の 考え方	Na in the particular particular properties and the particular part		
	C) 5 (5 (5 (5 (5 (5 (5 (5 (5 (5 (5 (5 (5 (最終配分の記	2024-7	
		採用理由を記載	は分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の 最終速度を採用。	の適用に併せて、
		その他()	

_			項目	チェック欄					
		考慮しない							
		考慮する							
	休日交通の		面的に考慮						
1	1×ロ交通の 影響	考慮する	対象路線のみ考慮						
		場合のみ	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の	() 9/ 考え方を記載					
ŀ		考慮しない							
1		考慮する							
	災害等による 通行止めの 影響	7 7 7 3	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	(66) E					
I		考慮する	過去10年間の平均日数						
	NO ES	場合のみ	とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した	□ 場合はその考え方を記					
L			過去の実績データがないため						
Γ		考慮しない							
l	冬期交通の 影響	考慮する	-						
		考慮する	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載]() 🖪					
		場合のみ	冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載						
H	交通流推計の	ブロック別・3	 車種別走行台キロの伸び率による設定						
	時点以外の	その他	TIEM/CITE 1 - VITO TICO WIEX						
L	便益の算定	(
	1	費用便益分	析マニュアルの値を使用						
	車種別時間 価値原単位	独自に設定した値を使用							
-		費用便益分	析マニュアルの値を使用	-					
	車種別走行	独自に設定し	した値を使用						
	経費原単位								
Γ	交通事故減少	中央分離帯	の有無を考慮						
L	便益算定		の有無を考慮しない						
11.0	走行時間短縮·走	考慮しない	and a military (Sp. 2) in miles (Sp. 4) and (Sp.						
		考慮する 口 (考慮の場合、算出根拠を添付すること)							

事業名: 石榑峠道路

(4)

	項目		チェック欄
	詳細事業計画による値を採用		
事業費	標準投資パターンを採用		
費	その他()	
用維持管理到	維持管理費の設定根拠を記載		
の「推行官理」	既存の路線の実績を参考に設定		
算 雪寒費	積雪地域または寒冷地域である		
4. その他			
•••••			
***************************************	***************************************		

	•••••••••••••••••••••••••••••••••••••••		

単純価値(億円)

費用の現在価値算定表(事業全体)

箇所名:国道421号 石榑峠道路

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

延長(km)

単価(億円)

	- 6					0.05	4.5	
(50/2547)	363	541560 II	割戻率	GDP	事業費		維持管理	費(億円)
年次	年	度	<u> </u>	デフレータ	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-13年目	Н	10	1.6010	102.8	0.45	0.64		
-12年目	Н	11	1.5395	101.3	0.42	0.58		
-11年目	Н	12	1.4802	99.7	0.04	0.05		
-10年目	Н	13	1.4233	98.4	0.06	0.08		
-9年目	Н	14	1.3686	96.6	0.09	0.11		
-8年目	Н	15	1.3159	95.4	0.76	0.96		
-7年目	Н	16	1.2653	94.4	1.49	1.82		
-6年目	Н	17	1.2167	93.2	4.66	5.55		
-5年目	Н	18	1,1699	92.5	22.31	25.77		
-4年目	Н	19	1.1249	91.7	29.02	32.50		
-3年目	H	20	1.0816	91.3	21.67	23.43		
-2年目	H	21	1.0400	91,3	19.33	20.11		
一1年目	H	22	1.0000	91.3	23.82	23.82	0.01	0.04
供用開始年次	H	23 24	0.9615	91.3	1.90	1.83	0.21	0.21
1年目	Н	25	0.9246	91.3	16.85	15.58	0.21	0.20
2年目	Н		0.8890	91.3			0.21	0.19
3年目	Н	26	0.8548	91.3			0.21	0.18
4年目 5年目	Н	27	0.8219	91.3			0.21	0.18
6年目	H	28 29	0.7903 0.7599	91.3 91.3			0.21	0.17
7年目	H	30	0.7399	91.3	-		0.21	0.16
8年目	Н	31	0.7026	91.3			0.21	0.16
9年目	H	32	0.7026	91.3			0.21	0.15 0.14
10年目	H	33	0.6496	91.3			0.21	0.14
11年目	H	34	0.6246	91.3			0.21	0.14
12年目	Н	35	0.6006	91.3			0.21	0.13
13年目	H	36	0.5775	91.3			0.21	0.13
14年目	Н	37	0.5553	91.3			0.21	0.12
15年目	Н	38	0.5339	91.3			0.21	0.11
16年目	Н	39	0.5134	91.3			0.21	0.11
17年目	Н	40	0.4936	91.3			0.21	0.11
18年目	Н	41	0.4746	91.3			0.21	0.10
19年目	Н	42	0.4564	91.3			0.21	0.10
20年目	Н	43	0.4388	91.3			0.21	0.09
21年目	Н	44	0.4220	91.3			0.21	0.09
22年目	Н	45	0.4057	91.3			0.21	0.09
23年目	Н	46	0.3901	91.3			0.21	0.08
24年目	Н	47	0.3751	91.3			0.21	0.08
25年目	Н	48	0.3607	91.3			0.21	0.08
26年目	Н	49	0.3468	91.3			0.21	0.07
27年目	Н	50	0.3335	91.3			0.21	0.07
28年目	Н	51	0.3207	91.3			0.21	0.07
29年目	Н	52	0.3083	91.3			0.21	0.07
30年目	Н	53	0.2965	91.3			0.21	0.06
31年目	Н	54	0.2851	91.3			0.21	0.06
32年目	Н	55	0.2741	91.3			0.21	0.06
33年目	Н	56	0.2636	91.3			0.21	0.06
34年目	Н	57	0.2534	91.3			0.21	0.05
35年目	H	58 59	0.2437	91.3			0.21	0.05
36年目 37年目	Н	60	0.2343	91.3			0.21	0.05
38年目	H	61	0.2253 0.2166	91.3 91.3			0.21	0.05
39年目	Н	62	0.2083	91.3			0.21	0.05
40年目	Н	63	0.2003	91.3			0.21	0.04
41年目	Н	64	0.1926	91.3			0.21	0.04
42年目	Н	65	0.1920	91.3			0.21	0.04
76-4-1	11.1	00	0.1002	91.3			0.21	0.04

単純事業費計					142.86		10.71	
合 計					142.59	152.79	10.71	0.03 4.59
49年目	H	72	0.1407	91.3	-0.27	-0.04	0.21	0.03
48年目	H	71	0.1463	91.3		S mail	0.21	0.03
47年目	Н	70	0.1522	91.3			0.21	0.03 0.03 0.03
46年目	Н	69	0.1583	91.3			0.21	0.03
45年目	Н	68	0.1646	91.3			0.21	0.04 0.04
44年目	Н	67	0.1712	91.3			0.21	0.04
43年目	Н	66	0.1780	91.3			0.21	0.04

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、 必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として 評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

击。	政在衛連	812 #48 0.63	20.00	407	60	255	00.0	9.00	000	1,82	R	131	7.18	100	28.9	400	0.47	0.00	0.00	200	200	2,60	E 0.0	504	4 25	4.66	449	4.32	4.16	4.00	3.85	3.71	337	2000	3.12	308	255	283	273	2.62	252	2.43	234	2.25	217	208	261	180	1.86	1.79
40	要益合計	-	10.00	10.25	38.31	10.41	15.65	1001	1000	0.00	1000	10.23	g	100	200	130	100	5 00	200	50.20	277	00 63	12.40	1241	6761	12.43	12.45	12.46	12.47	12.48	12.49	12.50	1251	10 53	1254	1956	12.56	1257	12.58	12.60	12.61	12.62	12.63	12.64	12.65	12.66	12.67	12.68	12.69	12.70
1000	現在価値	0.00	800	603	100	100	0.08	900	200	900	900	970	000	200	OT O	000	200	1000	1000	1000	500	200	000	0000	0.00	0.00	0.038	0.03	0.03	0.03	0.00	0.00	0.00	0.000	000	0.00	0.02	0.02	0.02	0.02	0.00	100	1000	1000	1000	0.01	100	0.01	500	100
は他の施格権	6	900	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.00	000	900	0.00	000	9000	920	0000	9000	0.00	0.00	900	900	0.00	900	0000	0.08	0.08	0.08	0.06	90'0	90'0	90'0	900	200	0000	200	800	0.07	0.07	600	0.07	0.07	200	0.07	- 0.07	500	0.07	500	0.07	000	200	0.07
	現在価値 のx (A)	1.16	1.12	1.09	1.06	1.03	1001	0.00	0.05	000	000	0.00	0.00	0.00	2000	0.76	0.77	0.35	0.73	0.75	0.00	0.67	0.64	0.67	0.60	0.58	0.55	0.53	0.51	0.50	0.48	0.40	0.65	150	0.40	0.38	0.37	0.35	0.34	0.33	0.32	0.30	0.29	0.28	0.27	0.26	020	0.24	0.20	0.20
	460	200	1.22	1.23	1.24	1.26	127	1 28	1.30	1.21	1 700	1 30	1 225	1 20	1.40	1.42	1.44	1.46	1.40	155	1 43	1.53	1 53	1.53	153	7.	1.54	151	154	75	139	1.30	1 55	35	1.56	155	1.56	137	137	157	121	1.58	1.58	1.58	1.58	88	128	1,33	500	1.20
走行経費提益 (銀円)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1.14	1.16	1.17	1,18	120	121	122	1.04	1 25	263	00.1	12.5	133	20.0	2	1,38	1071	27.	77.	1.46	147	1.47	1.47	1.48	1.48	1,48	1,48	1.49	45	2	85	1051	1.50	1.51	1.51	121	1.52	1.52	1.52	1.52	1.53	153	1.53	75	X	7	104	22.0	122
幸	報告を	-	100	100	0.01	100	100	1000	0.01	100	900	100	100	0.00	100	100	0.01	100	000	100	0.01	100	100	100	100	100	100	100	0.01	100	100	100	100	100	0.01	100	10.0	10.0	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.61	0.01	000	0.00	200	DAM .
	東京車器	100	0.05	0.05	0.05	0.05	900	9000	0.05	0.05	900	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	9000	900	0.05	900	9000	0.05	9000	0.05	9000	9000	900	000	900	200	900	900	900	900e	900	900	700	900	0.04	0.04	300	000	200	200	100	700	100	No.
	現在価値 ①×(A)	8	8.14	7.51	7.68	7.45	7.23	7.00	199	6.61	6.42	8.75	6.09	5.93	5.78	5.63	5.48	534	50.00	506	4.92	4.73	4.55	4.38	4.22	4.06	3.91	3.76	3,62	0.40	199	310	2.98	2.87	276	2.65	526	245	237	2.28	220	211	2.03	98	1,88	191	9000	191	1 5.5	Section 1
	# 0		3.81	938	3.98	3.07	9.15	9.24	9.33	341	956	600	10.00	988	10.01	10.14	10.26	10.39	10.52	10.65	10.77	10.78	10.79	10.80	10.81	10.82	10.83	10.54	10.65	10.00	10.67	10.88	10.88	10.90	10.91	10.92	10.92	10.93	10.94	10.95	10.96	10.97	10.98	10.99	800	2001	11.01	11.03	1104	The state of the s
及行時間接載 (第四)	46	7.45	7.54	7.63	1.72	7.81	7.90	1.99	808	217	8.26	839	8.52	8.65	87.8	188	906	9.17	830	9.43	22	9.57	938	198	236	969	3.67	83	200	0.14	9.76	9.76	9.80	9.82	9.83	9.85	9.81	888	16.5	0000	088	937	9.50	000	10.02	1000	10.08	10.101	1011	1000
	聖美語		0.29	0.29	0.29	0.29	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.27	0.27	0.27	0.27	0.27	0.27	027	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	976	0.23	250	200	0.25	0.25	0.24	0.24	0.24	0.24	0.24	0.24	0.23	0.23	0.23	0.20	0.23	0.53	270	0.00	0.22	0.22	0.22	
	●用車類 小	0.98	0.98	0.58	0.57	0.97	0.57	0.97	0.97	0.96	0.96	96.0	0.96	0.96	0.96	0.96	96'0	0.96	0.95	0.95	0.95	0.54	0.94	0.33	0.92	0.91	080	030	900	0.87	0.86	0.85	0.85	0.84	0.83	0.82	0	180	080	2 1	0.0	427	O.T.	200	0.10	24.0	0.73	0.72	0.71	
だよ	1,700	913	61.0	015	5	0 10	000	150	913	91.2	91.3	91.3	91.3	91.3	91.3	98.38	91.3	91.3	91.3	91.3	91.3	91.3	91.3	91.3	100	6	6	7 0	21.0	213	100	813	91.3	100	913	61.5	200	5	5	7 0	200	700	6 6	21.0	0 00	200	619	913	913	
事品権	3	0.9615	0.9246	0.5550	0.6546	0.8219	0.7903	0.7599	0.7307	0.7026	0.6756	0.6496	0.5246	0.6006	0.5775	0.5553	0.5339	0.5134	0.4936	0.4746	0.4564	0.4388	0.4220	0.4057	0.3901	03751	0.350.1	0.34000	0.3907	0.3083	0.2965	0.2851	0.2741	0.2636	0.2534	0.2437	0.2343	2070	0.0000	0.0000	0.4000	0.1958	0.1390	0.1719	0.1686	0.1583	0.1522	0.1463	0.1407	
Audi I	(A)	0.99970	0.999.70	Dissero.	U.SSS.IU	0.99970	0.999.70	0.99970	0.99970	0.95970	1,00136	1,00136	1,00136	1,00136	1.00135	1,00135	1,00435	1,00135	1,00135	1,00135	0.99395	0.99391	0.99387	0.99384	0.99380	0.99376	0.993.12	0.00000	0.96380	0.99356	0.99352	0.99347	0.99343	0.99339	0.99334	0.58330	0.000000	176937	0.00000	U SOCIETA	0.000000	0.00000	U 00000	0.50232	0.99292	0.99277	0.59271	0.99266	0.99260	
觀走行台和的年次別伸び率	近畿内鎌ブロック 袖 普通貨物	1,01207	1,01192	1011/8	101100	101101	1,013,38	101122	1,011113	1.01101	1,01571	1,01547	1,01523	1.01501	1.01478	1.01457	1,01436	1,01416	1,01396	1,01377	1,00195	1,00195	1,00195	1,00194	1,00194	1,00194	1,00193	1,00193	1,00192	1,00192	1,00191	1,00191	100101	- 1	11		1,001,000	1,000,000	1,001,00	1 000100	1,000,000	1.000.001	1,000107	100186	1.00186	1,00186		100	200	ı
裁走行台	(A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A)	0.99508	0.995005	0.000000	0.00000	0.39436	0.35430	0.33433	0.99490	0.99487	0.99550	0.99548	0.99546	0.99544	0.98542	0.98540	0.99538	0.99536	0.99533	0.99531	0.99369	0.99365	0.99361	0.99357	0.99500	0.35346	0.03044	0.00000	0.99331	0.99327	0.99322	0.99317	6.99313	0.99308	0.95300	987660	0.00200	202000	0.00000	0.000771	A 500367	0.89262	0.5005	0.90051	0.99745	0.99235	0.99234	0.99228	0.99222	
	1	0.99796	038786	0.000100	0.00100	The state of	0.53/34	0.337/30	0.99793	0.99793	688880	0.99896	0.99899	0.99858	0.99898	0.99896	38886	0.99888	0.99355	0.99898	0.99147	0.99140	0.99132	0.99125	111000	0.000.000	0.000000	0 89085	0.99075	0.99068	0.99059	0.99050	0.99041	0.99032	0.99022	0.00001	0.00000	0.00000	0.99973	0.00001	0.98950	0.48839	0.48928	0.98916	0.38904	0.98892	0.98880	0.38867	0.98854	
断	-	2 H Z	7	Т	Т	Т	Т	Т	Т		П	П		П	П	H 33	П	П	П		- 1	7		g	т		9 7			0.00	H SS	-1	- 1	- 11	- 1	111	1		Т	1 2 1		H 65	10	H 63	1	# 69			H 72	7.
年次		世級属田田	114.	U 45	144	11143	n a	1104	1111	田井	田林	10年日	H# 1	12年日	13#E	14411	日本日	m 19	日本日	田 計 第	10 H	30400	B#17	田井四	H+67	11441	100	が年日	日本82	29年目	30年目	21年日	12年日	H#37	1145	11430	840	H 450	日本の	日中日	10417	お年日	13年日	日本計	45年目	日本等	47年目	日本計	日本日	4

路線名	箇所名	車線数	延長			
国道421号	石榑峠道路	2	4.5km			

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費	1				13,390	
	改良費	8			546	
		±Ι	m3	321,667	406	切土(96,500㎡)、盛土(218,733㎡)、捨土(6,433㎡)等
	1	軟弱地盤改良工	m3			
	1	法面工	m	63,492	40	切土法面、盛土法面
		擁盤工	灾	1	100	重カ式擦壁
		函渠工	m			
	橋梁費	\		25	180	
		100m以上	m			
		100m未満	m	25	180	鋼橋1橋
	トンネル	R			11,720	
	MILES 4000000	NATM	m	4,100	11,720	1
		シールド	m		ULLA PERFECTION AND ADDRESS OF THE PERFECTION ADDRESS OF THE P	
	IC·JCT∯	ę.				
		IC	飾所			
		JCT	简所			
	舗装費				930	
		車道舗装	m	34,150	930	
		歩道舗装	mi			
	付帯施設	费			14	
		交通管理施設工	坎	1	14	標識、防護柵、道路照明等
		遮音壁	m			
②用地及初	價數				44	
	用地費	<u> </u>	m	13,600	27	.6
	and the state of	宅地	m			
		田畑	m			
		山林・原野	m	13,600	27	
	補償費		九		17	
3間接経費	t		Σţ	1	1,566	地質調査、測量、設計に係る費用等
と体事業費					15,000	

(事業全体)

路線名	箇所名	車線数	延長	
国道421号	石榑峠道路	2	4.5km	

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	4.5	1,200	巡回、清掃、除草等(修繕費含む)
修繕費	式	1	0	橋梁0.03km、トンネル4.1km
維持管理費合計			1,200	

滋 道 第 143 号 平成23年(2011年) 3月 7日

国土交通省 近畿地方整備局長 様

滋賀県知事 嘉田 由紀子

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る 対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(回答)

平成23年 3月 4日付け国近整企画第79号で照会のありましたこのことについて、下記のとおり回答します。

記

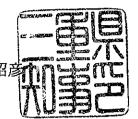
照会のありました「国道421号石榑峠道路」事業については、平成22年度末で供用 開始の予定であり、地元も望んでいる早期の事業効果発現を期待しております。

残工事を含む全ての事業が完了するまで、安全に十分配慮の上で事業推進してい ただきますようよろしくお願いします。

県土第 26—162 号 平成 23 年 3 月 8 日

近畿地方整備局長 様

三重県知事 野呂昭



近畿地方整備局事業評価監視委員会に掛かる対応方針 (原案)の作成に係る意見照会について(回答)

平成23年3月4日付国近整企画第79号で依頼のありましたこのことにつきまして、下記により回答いたします。

記

国道 421 号石榑峠道路

意見:本事業は、冬期閉鎖の解消や災害発生時の通行止めの軽減などの防災対策や中部圏と近畿圏の物流・観光面での交流・連携の促進を図るなど重要な事業です。

今後も引き続き、本県と十分な調整をしていただき、今年度末の供用開始に向け取り組んでいただくとともに、残された現道部分との取り付け工事等の早期完了に向け事業の推進をお願いします。

事務担当 三重県 県土整備部 公共事業運営室 事業評価グループ 電話 059-224-2915 FAX 059-224-3290